

5 1

総合的な学習の時間では、「一人一人の自分の生き方を考えていく」ために必要な時間であり、学習意欲の向上も考えられるため、学力の育成にも繋がっていく。

それを元にして、8Gの「ジェンダーと『女らしさ・男らしさ』の偏見を乗り越えるためには」という作品を見た。ここでは、目に見えない差や違いに関して考えさせるということから、「包括的な解決」へ導く力を身につける事を目標としていた。この力は、偏見や固定概念が植え付けられていない子供だからこそ、必要な教育になっていくのではないかと考える。

この問題を授業で取り上げるとなると、難しい部分があるが、「職業」や「服装」という、生徒自身も身近で考えやすいものを小学校から取り上げ、高等学校までの長い時間をかけてジェンダーへと繋げていくという事がとても良いと思った。

最終目標では、多種多様なジェンダーを生徒が理解し、区別がつきにくいものだと認識する事で社会に出た時に多様な生き方ができると私は感じる。

また、1Gでは貧困は、低所得ではないというまとめが面白いと感じた。捉え方は人それぞれというのが大切だと思った。そして、私は全グループを見て「自分の価値観を育てる」ということが大切だという事を感じた。

5 2

私が静岡県立大学の学生の作成した「総合的な学習の時間」のグループ作品を見て、環境問題が多いと感じました。中でも私が印象的だなと感じたものは、「SDGsと私たちの関わり」です。私はSDGsと聞いても「持続可能な開発目標」や何年かまでを目標にしてるくらいしか知識がありませんでした。しかし、この作品をみて17の国際目標があるなど知らないことがたくさんありました。

私は今回の授業で、自分と同じ学生でこんなことを考えているんだとかこんなところに注目しているのかなど自分とは違う観点を持っている学生がたくさんいて新鮮でした。

5 3

8個のPowerPointを見て特に気になったのが「SDGsと私たちの関わり」で、私が実際大学に入りゼミの授業でのレポートでSDGsについて論ずる機会がありましたが、正直SDGsを詳しく知るきっかけもそのゼミが無ければもっと遅く知ることになったと思っていて、こんなにも現世界にとって重要視されているのにも関わらず、言葉は知っていても深くは理解できていない学生がまだまだいると思います。

(4G)のこの課題の様に分かりやすくイラストなど生徒の目につく形で興味を引き立てつ

つ触れさせていく事が効果的だし、意味のあるものと考えました。

他にも（8G）の「ジェンダーと「女らしさ・男らしさ」の偏見を乗り越えるためには」というテーマで自らグループで考える機会を作ることで、意見も一つではなく何種類もの考えが生まれそれを理解する機会を与えることで、ジェンダーに対し真剣に向き合うことで問題視させている事が減るための一つの方法とも思いました。

これらは大学生が対象ですがもう少し柔らかい内容にし、理解させ考えさせるかを考えるのも難しいと考えました。

5 4

2Gのコロナ禍における地域産業の活性化とそれに貢献するための自身の役割についてを選びました。

この資料では主に静岡県のことについて書かれており、静岡県といえば茶の生産が日本一位ですが、コロナの影響で去年の18.5%減っており、額で表すと251億円も茶の生産額が減少しており、さらには鹿児島県の生産量に抜かれてしまったとのことでした。茶の他にもわさびやメロンなどの生産量も減っているそうです。このようにコロナの影響で産業が悪化している状況とその問題に対する考えを深めようということで、この2Gはこれをテーマにしています。

その内容は、まずはコロナ禍で普段の生活はどのように変化したのか、次に地域産業の現状、県や国はどのような支援を行なっているのか、最後に自分たちができる対策についてまとめられていました。起承転結がはっきりしていてさらにこれらのことを考えることで実際に授業を行うとなった時にどのようなことをするのか、また期待されるのかということがまとめられていました。現在、他の授業でも模擬授業をやっている、授業を行う前にこのようにどのようなことを考えさせるのかなどとても考えることが多く、苦戦しています。

この資料を読んでこのグループの人たちはコロナ禍における現状やその悪い現状を打破するためには自分たちには何ができるのかなどがとても明確であり、授業の目的を明確にするということは教師になる上でとても必要になってくる能力だと思います。なので、自分も来年も模擬授業がある際には、授業の目標を明確にかつ児童達にも理解がしやすいような授業をつくっていく能力を身につけていきたいと思いました。

5 5

私は少し前まで、ゼミでSDGsについての授業を受けていて、今一番興味のある内容なので、第4グループの「SDGsと私たちの関わり」を選びました。中学生でも理解できそうな3つの目標をあげてグラフや具体的なデータを見せ、身近に起きている問題を説明するスライドは大学生である自分にも勉強になる内容でとても分かりやすかったです。

自分もSDGsをまとめたものを発表したけれど、テーマが定まらず苦戦したので、この手があったかと思ってしまいました。

56

私は5Gの防災教育を読んだ。プレゼンテーションは研究テーマ設定の背景や飛行までしっかりとしていて、今後の私のプレゼンにも活用できるものであり、大変参考になった。内容で一番印象に残った点は、防災意識の地域差についてだ。災害発生件数が防災意識の地域差の1つの要因ではというグループの疑問を出し、それに対してどのような調べをしたのか、また他県と比べることで具体的な内容と考察が出されていたことで印象に残ったのだと考える。

また、そこから違った視点でのアプローチにも驚いた。サイトからの引用、アンケートの様子には完成度の高さを感じた。自分たちも知らない情報を混ぜることで聞き手の興味関心を引き出しているのも評価したい。これら感じた点を私もプレゼンに出せるようになりたいと感じた。

57

1Gから8Gまで見て、私はゼミの授業でSDGSの色の問題について1年間調べていたので3GがSDGsの食糧難について取り組んでいるのに興味を持ちました。まず、食糧難について世界的に起きている問題を挙げて、その後重要な問題を2点に要約をしていても分かりやすく、自分の今後のプレゼンやレポートなどに生かすことができると考えました。

その後、世界の問題から日本国内の問題に焦点を当て課題や解決に向けた企業の取り組みを取り上げており、私も企業の取り組みなどについて調べていたので共通点を何個も見つけることができました。一方でSDGsの解決を教育に繋がるという点については私には思い浮かばなかったことだったため、とても興味深かったです。

結果として学校生活の中で総合的な学習の時間を用いてSDGsを子供達に伝えていくことが食糧難やその他のSDGsの問題解決にもつながると考えるため、自分もSDGsについてより知識など深め、総合的な学習の時間で指導できるような教員になりたいと思いました。

番外

1

私が授業の中で一番印象に残っているテーマは、第12回、第13回の総合的な学習の時間、総合探究です。総合的な学習の時間は、小学生の時から授業として学習してきましたが、他の科目と違って一言で言い表せるようなものではなく、どういうものか明確に理解していませんでした。この教育課程論の授業で、主体的・対話的で深い学びの大切さやその力を課題解決に生かすことを学び、総合的な学習の時間について考えを深めることができました。

た。また、静岡県立大学の学生の作品を見るのがとても良い経験になったと感じています。他の授業でも、他大学の学生の作品に触れるということはあまりなかったので、とても新鮮でした。コロナ禍で同じ大学の学生との交流が制限されているなかで、こうして他大学と交流して学べる機会を設けて頂いてとても嬉しかったです。ありがとうございました。そして、kcnのクラスフォームはこの授業で初めて活用したので、他の学生が同じ課題に対してどのように考えたのか見ることができて、とても勉強になりました。他の受講者のコメントを読んで感想を書く課題を終えた後も、毎度読むようにしています。オンデマンド授業のなか、このような交流をしながら学習できてとても良かったです。ありがとうございました。